

Sendai Sports
VOLUNTEER
Project

仙台を日本で一番 スポーツボランティアが盛んな街に



NPO法人
ボランティアインフォ



市民スポーツボランティア SV2004



仙台大学

1. 事業実施団体について



事業名：仙台スポーツボランティアプロジェクト



東日本大震災後、ボランティア情報をYahoo!ボランティア等に継続配信してきた経験や、情報発信の実績、また年間2,500人以上のボランティアをコーディネートしてきたノウハウを有している。



仙台におけるスポーツボランティア普及の旗振り役として、楽天イーグルス等のボランティア組織立ち上げや、中高生向けの体験講座実施(スポーツコミッションせんだいと協働)等、現場との強力なコネクションや活動実績、そして経験豊富なボランティアメンバーを有している。



仙台大学独自の認定資格として、健康づくりのエキスパート・楽しい運動を指導する「健康づくり運動サポーター」を養成し、地域のさまざまな健康教室などに学生を教育の一環として参加させる取り組みを実施しており、検定作成・実施ノウハウを有している。また体育スポーツ系大学として支えるスポーツへの実績や理解が大きい。

<役割分担>

- プロジェクト管理(事務局)
- web サイトでの情報発信
- 研修会の開催運営
- インターン受入れ

- 研修会での講師
- スポボラ体験会のコーディネート

- 研修会での講師
- コーディネーター研修会の構築

市の支援 (サポートチーム、専門家等を含む):

- ・事業の方向性に関する助言
- ・インターン募集に関する支援

2. 平成30年度の実施内容



課題 (現状)

- 新規参加のハードルが高い
- 継続的な参加を促す仕組みがない
- 各スポーツ団体や既存ボランティアの情報発信力が弱い

目的 (目指す姿)

- 仙台を日本で一番スポーツボランティアが盛んな街にする

目標

- スポーツボランティアが増えている
 - ・ 体験会の開催 (20回、100人)
 - ・ webサイトの充実 (インタビュー記事、体験会の報告など)
- スポーツボランティアが育っている
 - ・ 研修会の開催 (初級、リーダー、コーディネーター)
 - ・ 外国人ボランティアヘリーチ、企業ボランティアヘリーチ
- 継続していくためにマネタイズができている
 - ・ 企業ボランティアパッケージ、スポンサーなど
- 2020年に向けて仙台のスポーツシーンが盛り上げられている
 - ・ トークイベント開催、交流会開催

2. 平成30年度の実施内容

実績

- ▶ スポーツボランティアが増えた
 - ・体験会の開催（4回、16人）→ほとんどの方がシーズンボランティア登録
- ▶ スポーツボランティアが育った
 - ・初級研修会：6/10(57人)、8/19(61人)、11/11(21人)、3/19(29人)
 - ・リーダー研修会：11/25（18人）
 - ・コーディネーター研修会：3/25（7人）
- ▶ 継続していくために
 - ・ツールド東北とコラボした研修会の開催
 - ・せんだいスポーツボランティアステーションへの引き継ぎ
- ▶ 2020年に向けて仙台のスポーツシーンが盛り上がり
 - ・公開講座「オリンピック・パラリンピックのボランティア」開催：11/11
(23名)



2. 平成30年度の実施内容



支援

- ワカツクさま: インターンの斡旋とサポート
- 仙台市市民協働推進課さま: 出張スポボラ研修会の後援名義申請サポート

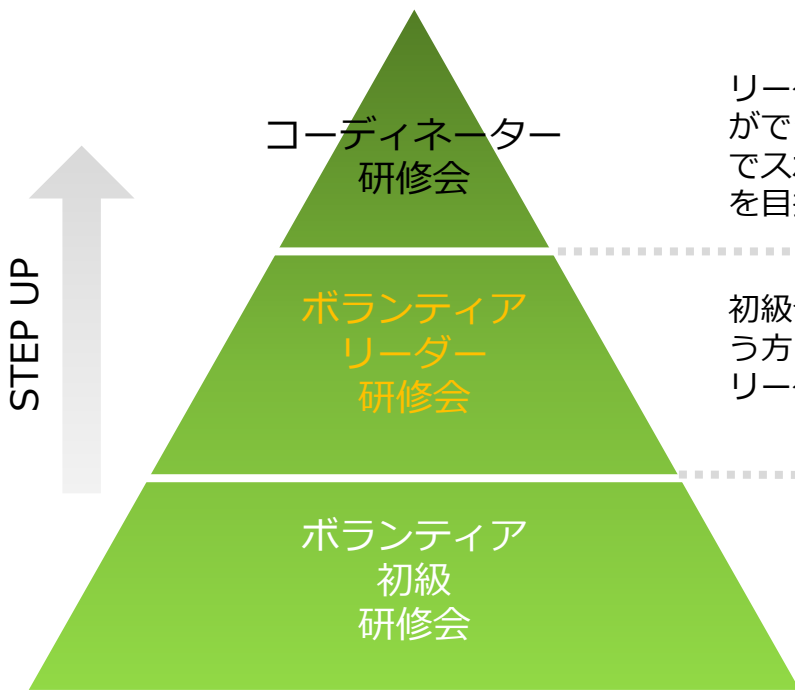
使用 経費

- 事業費総額 : 338万円
 - 仙台市助成金 : 300万円
 - 事業収入 : 26万円
 - 団体自己資金 : 12万円
- 内訳
 - 人件費 : 226万円
 - 旅費交通費 : 16万円
 - 消耗品費 : 7.5万円
 - 印刷費 : 4.6万円
 - 通信運搬費 : 12万円
 - 賃借料 : 2.7万円
 - その他経費 : 68万円

3. 実施した取り組みの紹介-1



仙台スポーツボランティア研修会



リーダー合格者でボランティアリーダーを束ねコーディネートができる方。主催者サイドとの打合せや交渉ができ、自身だけでスポーツボランティアを企画できる方。年間10人の受験者を目指す。

初級合格者で、ボランティア現場で10人程度のチームのリーダーの役割を担う方。知識だけではなくチームビルディング能力やリーダーシップを持ち、リーダーを務めることができる方。年間40人の受験者を目指す。

ボランティア初心者から日常的にスポーツボランティアを楽しみながら行っている方。年間200人以上の受験者を目指す。

【東京マラソンのボランティア運営体制】



日本スポーツボランティアネットワーク

仙台スポーツボランティア研修会の初級とリーダー研修会は日本スポーツボランティアネットワークの作成する研修会内容も兼ねており、全国のスポーツボランティアで使用できる資格としても認定される。

3. 実施した取り組みの紹介-2



➤ スポーツボランティア体験会の開催

スポーツボランティア研修会に参加いただいた方で、まだスポーツボランティアをしていない方を対象に体験会を実施しました。インターン生がサポート。

体験会参加者の半分以上の方はシーズンボランティアの登録に至りました。

- ・開催日程: 4/7(土)、4月28日(日)、1月20日(日)、1月26日(土)、
- ・ボランティア先: 仙台89ERS(バスケット)、ヴォスクオーレ仙台(フットサル)
- ・参加者: 合計16名

➤ ボランティアトークイベントの開催

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの大会ボランティアの応募が始まるなど、2020年に向けてスポーツボランティアの盛り上がりが見られ、2019年、日本スポーツボランティアネットワーク主催、仙台スポーツボランティアプロジェクト共催でトークイベントを開催し、あまりスポーツボランティアに参加したことがないような層に対して、スポーツボランティアの魅力を伝えることができました。

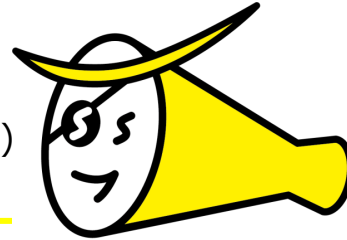
- 開催日程: 11/11(日)午後
- 参加者数: 23名

4. 事業の成果と今後の展開



育てる

- 初級研修会：4回開催（168人）
 - ・出張研修会：宮城県と仙台市の後援名義
 - ・ツールド東北とのコラボ研修会
- リーダー研修会：1回開催（18人）
- コーディネーター研修：1回開催（7人）



Sendai Sports
VOLUNTEER
Project

増やす

- webサイトの充実→情報発信
- プロスポーツのボランティア体験会の実施
 - ー89ERS
 - ーヴォスクオーレ
 - 合計4回実施(16人参加)

継続するために

- 研修会の収益化：26万円
- スポーツコミッションせんだいへの引き継ぎ

盛り上げる

- トークイベント
- スポボラ交流会参加



- 2020年オリンピック・パラリンピックのスポボラの盛り上がりをブームで終わらせない=プロスポーツボランティアが受け皿へ
- スポボラせんだいモデルを他の都市にも展開=スポボラ先進都市仙台へ